練る〝決戰の祕策〟
手辨當でけふ知事會議
戰力增强へ重點
瀬戸知事抱負を語る

櫻の花も綻びたであらう南から、いまだ肌寒い北から良二千石の各道長官が京城へ續々と集つてきた陽春四月から向う一ケ年、決戰第三年も勝ち拔く不敗の態勢を愈々牢固たらしめんとする定例地方長官會議に出席するのである、その大斷定はいよいよけふ十二日から開幕だ、宿舍朝鮮ホテルは十日夜から十一日朝にかけ參集する知事さん達の應接に忙しい、なかには手辨當持參の知事さんもある、流石に決戰議據れる會議前奏曲だ、手荷物を部屋に入れると直ちに白堊殿に向ひ僅かな時間も惜しみ〝お百姓〟の仕事に懸命である

會議は十二、三の兩日は白堊殿第一會議室に開き總督、總監の訓示、局長の演述に初日を終り第二日目は朝鮮軍參謀長、總督府警務局長の口演と懇談、第三、四日目の十四、五兩日は演武台の總督官邸を大評定の會場として協議、打合に終始することになつてゐる

愈々今年度こそ文字通り超重點主義の戰力增强戰略が施行されるのだ、總督府に總督に大東亞戰爭の兵站基地半島の使命は重且大である、それのみではない食糧の增産、資源を誇る半島だ、食糧の增産も重要であり、要塞半島の總督戰を强化する防衛問題、二千五百萬民衆の決戰生活の確立もある

良二千石の長官達が夫々の覺悟くおさめて持參した勝ち拔く態勢の戰士達は何んであらうか、總督、總監が示す統理の最高施策は何か、けふ十二日から四日間こそ決戰乘切りの祕策が授けられるのだ、さあ、半島二千五百萬もこゝ四日間に耳目を凝集し總力總起ちで今年度も完勝街道を突破するのだ

京畿道では決戰を乘切るため正月から五大重點事項を道政に採上げたその第一が戰力の飛躍的增强、第二に米英擊滅の戰意昂揚、第三に國民生活の決戰化第四に官公吏の修養鍊成と民衆の非常時的訓練、第五が防衛體制の强化確立である、以上の重點に向つて總力を擧げて道は徹底的に邁進してゐるのであるが民衆一般の氣魄が薄く決戰非常の心構へ即ち頭の切換が出來てゐないでこれ等のものを戰力增强の一線まで急速に引上げるため更に總蹶起運動の推進隊をつくり强力な運動を展開することになり十日からその第一歩をふみだしたがこれには道内の中等學校、國民學校の教員六千二百名を動員して眠れる大衆の教育に刎れ石をさすのだ、學校の授業日數がどうだとか子供の教育がといふものがあるかも知れないが時局はイロハのイを敎へるのが二年三年遲れてもよいのだ、十年後の人間をつくるより現在すぐ間に合ふ人間の再教育即ち頭の切換によつて戰力の飛躍的增强をはかり鬼畜米英を擊滅するのだ

瀬戸京畿道知事は十二日からの地方長官會議を前にし道政の根本につき左の如く語つた

各道知事朝鮮ホテルへ 十二日から四日間に亙り開催する本年度定例知事會議に出席のため十日入城した大野慶南知事を初め下飯坂平南知事、信原平北知事、山本忠南知事、平松忠北知事、柳生咸南知事、吉川咸北知事、兵頭全南知事は何れも朝鮮ホテルに宿泊なほ殘る碓井黄海知事、武永慶北知事も十一日に入城、同ホテルに投宿した

〝ソムラ高原突破の感激記〟
越える幾山河
斷崖、峻嶮に血の苦闘

【アッサム前線○○野口、今井、福島報道班員八日發】チンドウイン河の奇襲渡河から國境突破へ、そして人馬も通らぬ難嶮たるソムラ高原（コムマ東方國境線の山岳地帶）からコヒマへわが作戰の絶妙巧緻と一死報國の一念に燃える將兵の意氣はチンドウイン河を無血渡河し、國境を突破して道なき峻嶮を征服してコヒマ攻略の大業を成功せしめたのであつた記者らはこの世紀の作戰に從軍して國境突破の感激を縱線わが將兵と勞苦をともにしたが、以下はコヒマ城頭にあがる萬歳に頰を濡らしつゝ綴る戰記である

十五日では少し遅かつた、渡河點には此日を待ちに待つた將兵らが對岸を睨んで進擊の命を今や遲しと思ひ必死に意氣をこらして待機してゐた、その中には獨立の意氣に燃え立つ印度國民軍勇士らの逞しい姿もあつた、第一回の渡河命令は遂に發せられた、警戒絶縁勤務の背が各渡河點から一齊に淨き渡り

精鋭 を滿載した鐵舟が次々に暗流に乘り出して行つた一回、二回三回對岸にも空にも何んの反應もない、敵は感づかないのだ、勇士たちの後につゞいて牛馬も踏共に渡河した重い火砲、彈藥、糧株が續々對岸へ運ばれたが豫想された敵機は一機も來襲しない、對空陣も氣拔けの態だ先發隊は最早豫定の集合地點に到着したのだらう、小高い砂丘の上からは赤い信號燈が頻りに明滅する、この信號燈を目標にぐんぐんと人馬が集まつた、敵の厳重な哨戒下しかも暗夜に一糸亂れぬ渡河作戰を遂行し得るのは一に皇軍なればこそである、ほつと後をふり返ると今渡河して來たばかりの對岸のジャングルから下弦の月がのぼりはじめわれくは月光を浴びつつ

砂丘 上に第一歩を印したのであつた、十七日、話しには何度か聞かされたソムラの嶮路ではあつたけれど矢張りその征服の困難さは實際に體驗したのでなければ判らない、一萬呎前後の山々が壁のやうに南から北へ國境線に沿つて聳り西側は斷崖、東側は嶮峻な丘陵の連續でてうど日本アルプスを思はせる

中腹以下は巨大な熱帶樹の鬱茂するジャングルであるが、中腹以上は禿山で、山頂近くは身を切るやうな寒さを覺える、あるひは胸衝く急坂を攀ぢ、あるひは山から山、谷から谷へとジャングルの中を拔け斷崖の谷を…餘儀の步兵を背負つて進む…兵士の勞苦は想像を絶する…があつた、支那戰線のやうな

部落 とてあら…がない米…と粉味噌だけにたよつてこの路を踏破しなければならないのだ、野菜不足を補ふためパパイヤの目などがあるばかりの幹の芯、パインアップルである道路といふ道路のない…の戰線では彈藥食糧の補給…持つ輜重隊は牛馬を使役し…ればならない、ちよつとし…木はじめ一本橋、急な險路…すべて牛馬の通過は不可能…る、これらを一つ一つ…裝具の上にさらに荷を…れ果てた牛馬の手綱を引き…急坂を必死に攀ぢのぼる兵…はまさしく神兵の姿その…ある、かうした血の滲むや…難苦をつゞけながら

萬歳 の…があつた、密林が多少開けて…がぼうくと茂り、一本の道が斷崖のやうな斜面の間を縫つて

印度領へと消し遙か彼方にはこれから越えて行かねばならぬ幾重たる山々が青く霞んで見えたこれが印度の土だと一握りの土をしげしげと見る幾多の兵士もあつた『印度の土を、印度の土を』と痛苦に顫ちながらその峻嶮を征服して來たのだ『天笠へ行つたら俺のおふくろはびつくりするだらう』と真顔でいつた兵士もある、この一瞬息詰まるやうな感激を味はつたのは印度國民軍の將兵だつた武器をとつて祖國の自由と獨立のために怨苦の日を送つて來た彼らは今こそ祖國への關門にかゝつたのである遙かな山々の彼方に見える彼らの相貌は鬪志は祖國愛に燃

夜襲 でもかけてゐるのか小銃、機關銃を射ち合ふ音が谷を越えて友軍が…ルヒ・カション（ウクルル東方十キロ）だ、これを越えさへすればもうウクルルも間近に見える筈だ

四億に寄せる祖國解放

老猪、ペテンの手をもつて印度を征服した鬼畜英は三百年に亙つて暴虐の鞭を加へ、蹂躙され、た印度は奴隷として恨みをのみ呻吟し續けて來た、しかしいまやくろがねの久は鞘を拂つて鐵鎖を一氣に斷ち切らんとしてゐる、精鋭皇軍とともに印度國民軍は母國の土を踏んだ、ベンガルに、アッサムにあがる凱歌―八萬五千の敵英印、米、アフリカ兵を叩き潰して怒濤の進擊を續けてゐる、祖國解放を夢見る印度、そこには三億五千の民がある、一口に印度人といふが、餘りに多い種族にわれわれは氣附かない、固く手を握らねばならぬ東洋の友〝印度の習俗〟を…

の牙城インパールに迫るの日は力ラダン前線に躍進しつつある印度國民軍の士氣を愈々昂めつつあるが去る一日カラダン南方モウンダウンの夜襲を決行して宿敵英軍と初めて戈を交へ赫々たる戰果を舉げた國民軍將兵達に感銘何するも

P中尉

私達は今や高い希望と大きな感激に燃えて私達自身の戰ひ、すなはち自由印度の勝利を戰ひ取つてゐる私の胸には今烈々たる祖國愛と大東亞帝國の憤激が沸り立つてゐる、御覽なさい、兵士達の顏、今こそ恨重なる英人と戰ふ時と喜びに彼等は死さへ忘れてゐる、祖國愛と正義のために戰ふ軍隊が如何に强いか、日本軍の精强さが從々とわかつた、敵の陣地に躍る黒人兵は自らの意志も國魂もない烏合の衆だ、われわれの鬪志は幾度かの戰鬪を經て益々强くなるのだ、戰友の屍を越えても印度解放のために戰ひ通けねばならない

サルタルシン軍曹

私は夢中だつた、逃げようとせず

印度の習俗 ①

昭憲皇太后卅年式年祭
嚴かに御執行

【東京電話】昭憲皇太后卅年式年祭の十一日畏くも　天皇陛下には　宮中皇靈殿に御親拜あらせられ、嚴かな御祭典を執り行はせられた、この朝御與祭き神殿には高松宮殿下をはじめ奉り各皇族殿下御拜床、松平宮相以下なほ桃山東陵においても同樣御祭典を執り行なせられ

各宮内勅奏任官總代着床、嚴かな御祭典に移り三條掌典長祝詞を奏し終れば、午前十時天皇陛下には御東帶黄櫨染御袍の御姿も神々しく、内陣の御座に玉串を捧らせ給ひて恭しく御拜禮あらせられ、ついで皇后陛下御拜、皇太后陛下の御代拜を高松宮侍從、皇族殿下御代拜、參列諸員の拜禮あつて御儀を終へさせられた

天皇陛下の御代拜を大寺侍從皇后陛下の御代拜を折田宮内省京都地方事務所長、皇太后陛下の御代拜を町尻掌典が夫々奉仕し、東久邇宮妃殿下にも御拜禮、山陵式年祭の儀を滯りなく終らせられた、また明治神宮に於ては前日の儀に引續き午前八時より藤田宮司以下神職奉仕し、嚴かな御儀が行はれた

武裝せよ防衛
＝6＝

…柳風と百花競ふ春四月こそ花見ならぬ敵機空襲の季節である、敵襲は必ずや間隙を縫つて我が空を襲ひ一敵機士の日來ること必ずも豫想したならば徒らな春の感傷は許されぬ空襲は必至である、謀略の毒牙を延ばして銃後人心の安定を根こそぎにくつがへさんとする破壞に對處して早急な建設は防衛として…るかせに出來ぬ關心事であると

長鄕住宅營團建設部長談

共にふだんの積極的訓練が望ましい、都會における自分の家が空襲によつて木ッ端微塵に破壞されたなら先づどうするか―それは餘りにも切實な問題であるが果してからやるべきだと冷靜敏速に處理する心構へと方策に就いては案外等閑視されてゐる、都市疎開とか人口疎開も刻下の急務ではあるがこの對策と共に都市建設の要點を住宅營團建設部長長鄕衛二氏に聽く【寫眞―長鄕衛二氏】

都市疎開で最も早くやらねばならぬのは都市における學校の地方分散と同じく都市内の工場の地方分散である、その場合に學校ならば學校、工場ならば工場だけを地方に持つて行つたのでは意味なく持つて行く以上は都市施設を出來るだけ最大限持つて行くことである、朝鮮の學校には寄宿舍のない學校が多いが、防空訓練を行ふ時など學生を各學校の附近の寄宿舍に收容して行ふことを痛感する

工場の移轉 に就いては例へば一千人の職工を必要とする工場を地方に分散するには一萬から二萬五千の都市を建設せねばならぬ

ドイツで行つてゐる工場分散の實際方法は千人の職工を必要とする工場ならば少くとも三萬位の人口の工業都市を建設し勞働する千人以外の者は同時に如何なる時に交通が杜絶されてもこの都市の食糧は十分だ、勞働者も平常通り機能を發揮することが出來るといふやうにやつて行くのである、學校都市も同樣である食糧の需給問題と結びつけた都市を考へると大體一都市廿萬位が限度で、いざの場合に輸送が止つた時のことを考へればその都市の近郊から運ぶ荷車とかトラックなど睨み合せて廿萬以上の都市は自給自足が困難であり況んや百萬の京城を養ふ需給圈を求めやうとすれば南は慶南北、北は元山、咸興までになりこれは容易なことではない

近郊へ〝人口疎散〟
總てを自給の覺悟

そのやうな點から見て京城のやうな都會ではストックをして置くよりは他はない、都市人口疎散の具體的方策であるが、都市疎開といふ問題の中には人口疎開といふことだけを考へた場合と、いま一つは例へば京城ならば

京城の都市 そのもの…災害を最も少くする都市疎開の問題とがある、都會の人口疎散の問題には色々な方策があらうが普通で…京城から疎散して貰ひたいことは國土計畫人口疎分の比率を定め、どれだけの人口を京城から疎散せしめるかといふを決めて貰ひたい、京城は三割は疎開が出來ると思ふその根據は都市を防空的に考へ、また村民の保健衛生といつた點から考へて先づ千平方米當り十人の密度が最も理想的で千平方米當り十人といふと一人に對する面積は百平方米で一人卅三坪觀なら防空的な都市としても保健衛生上にも相當效果ある理想的な都市が出來る、ところが現在の京城の狀態をみると市內で千平方米に對し約廿人、鐘路區が約廿三、四人、一番高い所は千平方米百五十人である、最も千平方米十人といふのは理想であり、中庸などは千平方米廿人位までは致し方ないと思つてゐる

この計算で行くと京城の人口は約五割多いといふことになりその五割の人は疎散してよいといふ問題になるが、疎散するに就つては決して遠方に疎開する必要はなく、例へば永登浦の如きは千平方米當り五人位であるから永登浦の山とか田圃に防空的な施設をしてこゝに疎散せしめるといふやうにすれば京城の

人口の三割 位は疎散出來る、一たん空襲を受けた直後の建設は如何にすべきかといふとであるが、家を破壞された者達を收容するためバラック建のやうな建物を早急に造ればよいではないかといふのが常識である、これは私は反對である、バラックは恒久的なものでなく、京城の三分の一が被害を受けたとするならば、それらの被害者は殘りの三分の二の被害の受けなかつた安全な家屋に一時收容する、バラックの方法は色々と困難が伴ふ、寢床や蚊帳、食器など直ちに困るが、安全であつた家屋に一時收容されたならさういふ心配もなくお互が隣組の精神で分け合つて生活出來るその間に恒久的な住宅を早急に建てるべきである、然しこれは限度があつて災害が二分…つた時は殘つた安全…容するといふことは…こんな場合に若し避…京城を中心として…水原、開城などの…

その他學校 …時醫藥の工場などの…

ぢ（物理療法）

突いて突き捲った
自信滿々・印度國民軍

遣り過して掬ひ擊ち
海鷲　月下に屠る敵大型三機

關釜連絡船

見て知らう
本社主催の爆彈展

敵の彈爆（鹵獲品）展　十一日より二十三日まで　於五階　三越

本社寄託献金

國防献金

恤兵金

飛行機献納資金

本社の鑛山戰士慰問激勵隊

半島婦人へ國語講習會　京城府で開く

京城競馬場で武運長久祈願

訃告

會葬御禮

(第三種郵便物認可)　第一万三千二百三號

一坪の空地も活用

藥廠を作れ、お芋を植ゑよ增産だ

半大の空閑地も殘すなと國民總力京城府聯盟では百廿萬府民に呼びかけ大々的空閑地利用による食糧增産と、航空機の生命たる潤滑油原料ヒマの大々的增産を行ひ、苛烈なる戰局に應へる、先づ農産物の增産は麥、甘藷、馬鈴薯、蔬菜、豆類、栗、玉蜀黍で外に藥廠、綿花、桑から蓖麻、アンゴラ兎の增産まで行ふ、利用土地な所屬の如何を問はで一切の遊休地、休耕地、荒蕪地、河川敷地、鐵道線路、ゴルフ場、庭畔、道路、防空壕で屋根、立木、生籬等を利用する立體的栽培を勵行する食糧作物の種子、種苗、蓖麻種子及苗は京城府聯盟で斡旋し、愛國班、部落聯盟、學校生徒兒童を總動員して之を行ふ蓖麻の栽培に當つては愛國班は一戸當り六本以上、部落は二百本以上、官公署會社工場は一人當り三本以上を栽培せしめ、一本當り一合の收穫を期し、莖は軍用被服原料として供出する、綿は軍服、飛行服、防寒外套、落下傘及び綿布の原料として積極的栽培を奬め、愛國班兵同飼育等を行はせ、航空機の計器保溫總裁用、プロペラ及レンズ磨き用の原料となるアンゴラ兎の增殖は國民學校等に仔兎を斡旋して飼育せしめ、飼料としては空閑地を利用して向日葵を栽培しこれに當てる

ロータリーも無駄にせぬ
並木路にも蓖麻を植ゑます

一切を擧げて戰力增强へと京城府では都市空閑地を利用して蓖麻の增産に拍車をかけることとなり、府内のロータリー十一ケ所五千五百坪並に目貫通りの並木六千五百ケ所に蓖麻の種を植ゑつけることになつた、收穫は三分の一は枯れとみても種子六石七斗五升纖維原料の莖三千七百貫が採れ、十月中旬には輝く戰果がみられる、植付けに當つては府職員總出で一般商店街の勞力を借り受け近く行ふ筈でなほ植ゑつけ後の管理に當つては絶對に踏まぬ樣、石鹼水など撒かぬ樣注意すること

九千坪を耕作
淑明女實の作業

增産と勉學をかねることこそ敵前教育だと淑明實踐女學校では新學期から水田五千、畑四千坪を活用して農作物增産に聖汗を流す
まづ水田はこのたび退溪院に購入したもので、畑は校舍新築の

ために購入所に買つた地を方針を變へ二ケ月の豫定で畑に開墾し蓖麻を植ゑるが、この增産奉仕には一年の三分の一の日數をふりむけ全校生三百五十名を三部隊に分けて作業の日

獻金箱に千圓
保險管理所員の赤誠

は營業を全廢し現場まで徒歩でおもむき、激浪に火花を散らせる

總督府京城保險管理所員一同は米英擊滅獻金箱を作り去る二月八日から毎日一錢以上を投入、三月末日開箱したところ積り積つて一千百二圓五十四錢の巨額になつてゐたので所員一同を代表して徵收課長成瀧亮儁氏が十一日本社へ持參國防獻金の手續をとつた

府直營の診療所も設置
妊婦保護と安全出産へ登錄手帳

人的資源の確保を期し近く京城に妊産婦登錄制が施行される
妊婦並に第二國民の健育健生を自營し京城府民生部では妊産婦手帳を設け府内妊婦の登錄を行ひ、手帳を交附し、妊婦出産に伴ふ一切の面倒を見るものであり、物資の優先配給、時配等も新たに考慮され、從來町會の手を經てゐた妊婦用一切の配給物も手帳一つで自由に購へ、府直營の妊婦診斷、診療所も設置、他方警防團、警察と連絡して防空演習下これを保護する等至れりつくせりのもので、これにより年々相當の數に上る死産、早生兒などの害が一掃される筈、なほ目下手帳を印刷中であり近く實施される

先づ清掃から
鍾路總蹶起委員青年部の行事

鍾路總蹶起委員會青年部では九日結成した青年挺身隊の年中行事について會議の結果、まづ台所から庭、町内の不潔なものを一掃するとゝもに心を清めるとの基本方針のもとに具體案を十一日次のやうに決めた
清掃　毎朝町内の清掃にそして毎月八日には朝鮮神宮に全員參集して參拜ののち、府内の清掃奉仕に汗を流させる
鍛成　一隊から中堅隊員二、三名づつ選んで毎朝二時間づつ銃劍道や教練を實施、そして毎晩二時間づつ學課講習會を催し

不良現品を押收
本町署が悪質食堂を一掃

魚一片六十錢也が
京城の目貫街本町や明治町、鍾路方面に統制後存置して營業中の大衆食堂には未だ國家奉仕の意氣に映けてゐるものがゐるやしないか一億戰友の戰時生活がもつと强度に要請されるとき甚だ未だしいかゞはしい業者の跡を絶たない、丸公には遠く及ばない貧弱な内容であつたり、味を落したり品數を減らしたり、甚だしく粗悪な代用食品であつたり等の不審行爲は斷じて許せない—本町署經濟係では沖主任以下が九日後管内盛り場食堂業者の一齊取締を行つたその臨檢にあわてふためく中を不良現品はその場から續々押收指の先程の魚肉を一片皿に載せて六十錢とか、牛蒡の千切一つまみが五十錢とか、妻楊子に

【寫眞＝本町署で不良食品の山】

さした團子四串で五十錢、菜ッ葉汁のスープ、餅のないぞうに等々が山積して『勝ち通士に恥およ』と自らを暴露してゐる、中區明治町しきしま食堂以下十五軒にのぼる悪質組悪のこれら食堂業者は本町署で取調中だが反省しない者はこの際斷乎處分される

心身を鍛錬する
會合　毎月十五日の晩は隊別に娛樂中心の常會を開いて親睦を圖り魂の泥を交換する、尚青年部では十三日長沙町を皮切りに一日に一隊づつ隊別の巡回座談會を催し町の具體性に應じた運動方針を研める
なほ同青年部では十五日午後七時から京城保育學校講堂で班長隊長會議を開催する

傷痍軍人再起へ
指導者の懇談會

〝兵隊さん有難う〟と銃後感謝の熱誠を增産、貯蓄、勤勞の强化などに表明して廿四日から廿九日迄全國一齊に軍人援護强調運動が展開されることになつたので仁川府では週間中の行事につき計畫準備をすゝめてゐるが、傷痍軍人分會では週間を機に再起奉公の決意を新たにすべく廿七日指導者懇談會を開く豫定である

〝東光學校〟新發足

一時校長の瀆職行爲で學父兄を始め一般世人の非難をうけ學校經營にまで危險を呈してゐた府内孝町東光學校はこの程皇道研究家本辻達松氏を校長に迎へ健全なる第二國民訓育へ新發足する

婦人共同作業班

男に代つて增産勞力は私達がと富平地區では婦人が總蹶起して共同作業班を組織し、稻の增産に備へて稻株拾ひ、除草作業などに目下懸命敢鬪してゐる

流石名班長振り
侯爵の孫嫁、社稷町の李さん

李班長さん

侯爵の孫嫁さんが、内房生活といふ半島貴族の陋習を破り一愛國班長として敢鬪する決戰の話—鍾路社稷町二六二李龐濟さん(三)は李海昌侯爵の孫嫁さんで一年に廿回以上もあるお祭りの始末やら大家族の世話へと心血を注いでゐる李班長さんの話
嬉しいことは一生を私的生活にうつめるだらうと思つてゐましたが、意外にも祖父さまのよき理解で間接なりともお國に御奉公出來ることです、苦しいとは基本訓練が出來てゐないので警防鍛成に班員がまだ規律ある行動がとれない點です、やりにくい點もありますが乘り出した船です、齒を喰ひしばつて頑張るつもりです

陽子さんと星子さん

本欄に東陽子、西野星子の二人の女が時折お見えすることになります
◇東陽子＝心の優しい素直な娘、親切に他人の世話をし、身を以つて人を指導し誰からも愛されるいゝ娘
◇西野星子＝心の狹い利己的なキザな女、闇をやり、人の陰口を叩き常に井戸端會議の大將で總ずかんの女です、私達は電車の中八百屋、魚屋の店先、台所、お役所、會社いたる所で陽子さん、星子さんを見受ける、否、私達の心の中に正反對の陽子と星子が葛藤するときがないでせうか、そんな場合斷じて星子に負けてはなりません、私達は私達の心から私達の周圍から星子を追ひ拂ひ一人殘らず陽子になつて明るい正しいそして强い銃後を造らうではありませんか
星子『まあ、お久しぶり　陽子『まあ、それはくお忙しいりですね、陽子さん矣　いことですね、ほんたうに御苦今度愛國班長になつたのよ』　勞樣です』

配給品を着服する班長
それは國賊です改めませう

星子『いいえ、忙しいよりも物が這入るほうがいゝですよ』
陽子『えー、物が這入るとはどんなことですか、愛國班長になれば何か這入るのですか』
星子『それくは這入りますよ　班に配給された物を班員に全部配給しないのですよ、此頃木炭が無いといつてゐるお宅がある　が私の處にきてみて下さい、澤山ありますよ』
陽子『へえー、あんたそんなことをしてはいけませんよ、經濟警察に引っぱられますよ、第一そんな不德義なことをしたら隣近所は迷惑しますし、銃後を守るわれわれ婦人の恥辱ですよ』
星子『あんたは人がよいですね　そんな餘得でもなければ班長にはなれませんよ』
陽子『あんたの樣な人が居るからいつまでも闇がたえないので　す、絶交しますよ、ほんたうにそんな考へは捨てゝ皆んなのために働いて下さい、本當に良い班長さんになつて下さい、闇をなくするのはいま銃後で一番先きにやらなければならぬのですよ、それにはわれく婦人が眞先きに闇撲滅に挺身すべきだと考へますわ、本當に悪いことはせんで下さい』
陽子の切々たる言葉にも拘らず星子は冷い顏で『左樣なら』と去つて行つた

〝曉に流す聖汗〟
こゝにあり勤勞する愛國班

食糧增産のため石ころと鬪ふ愛國班總勢百餘名—龍山區漢江通二丁目西町會では近くの鐵道管理の空地約九百坪を借り、松浪理事長指揮下に愛國班各戸一名の割で出動〝食糧增産奉仕隊〟と名づけ、十一日から開墾作業を始めたこれには馬鈴薯、にんじん等を作り、收穫物は朝鮮軍に獻納する豫定、この一週間の整地作業は男子が引受け、後の種蒔きには婦人部隊が出動、各愛國班を單位に耕作をするが、晴れの收穫を目指し早朝のひとときを班員たちは土にまみれて頑張つてゐる【寫眞＝同奉仕隊の作業】

食用野菜を摘みませう
十六日採取會

ビタミンの不足は野草を食べて補ひませうと錬成の春にさきがけて府内保健協會肉識記念科學館では十六日午前十時から府外忘憂里一帶で〝食用野草を摘む會〟を開催、本府林業試驗場林泰治、京城師範上田常一兩氏の現場講演がある、集合は午前十時清涼里大學豫科前で一般家族連れを歡迎する、なほ同館では今般摘み草の手引『圖解食用野草』を出版して朝鮮産の山野草百六十餘種を紹介する

木材供出に責任制
十六日指令書公布式

道林産課では原木四十萬石の供出完遂を期するため第一次木材責任制の實施を行ふが之が指令書交付式を十六日午前九時半から道廳第一會議室で擧行する同式終了後一同は京城神社に參拜著は總藤林業所長以下六十二名で任務遂達成の祈願を行ふ

道林産課の機構を改革

林産物殊に副産物十六種目の生産責任實施に備へ道林産課では課内の機構を改革し、生産責任數量の完遂を期すべく邁進してゐる即ち總務係、第一、第二、第三係の新設で總務係は林務、企畫の二部制とし林務においては庶務一般事務を處理、企畫においては生産責任擔當各係の事務を總分し各係相互間の連絡に當り實務を行ふ
更に各係は道内各郡(各府)[illegible]

配給に協力
勝ち拔くために

決戰態勢が强化されるにつれて總ての部面の樣相が決戰型に變つて來ました、旅客も不急不要の旅行は制限せられ婦人の買出し乘車が押へられたのは當然であります、お互に戰時的自肅の生活に徹して勝ち拔くとが大切です、このとき當局は物資を如何に適正且公平に國民へ配給するかに腐心してをられるのに、未だに個人本位の營利觀念から拔けきらない商人があつたり、自分勝手な不平不滿を洩す國民があつては濟まないことであります
生活に必要な物資の配給は、適正と公平を目的として消費者の從來の習慣と生活狀態を考慮して圓滑な配給を期してをられるやうで、內鮮間において故意に差別配給をするといふやうなことは認められません、
例へば砂糖のやうなものは內地人に多く、鰮、綿布、明太魚、唐辛子などは半島人に多く配給されるのはこの考へに基いたものであります、最近半島人の一部に內地味噌や內地人衣服布地を買漁りするものがあるといふ噂がありますが、それがたゞ物欲しさの行爲であるとすれば內地人向物資を一層濫用化することになりますから、各々このみによる領域をおかさないやうにしたいものです
次に最近の問題として砂糖の登錄を百貨店、購買組合へ殺到したものが多かつたやうに聞いてをります、その原因な色々ありませうが、この結果主婦の時間空費、乘物の混雜、住宅管理の不能による空巣狙ひの的になるといふ樣なとも起つて來るし、いざ空襲の際防護處置の不備に基く災害の擴大等も考へられるのであります、又當局は來るべき企業整備と相俟つて店舗の疎開適正配置を考へてをられると思ひますが、其の際一般家庭の利便をも考慮して頂きたいと思ひます
一方消費者側も關係相助の精神より、又非常時における物資の店舗の役目をなす商店の効果の點を考慮して、平素より親密して存在される程度の配給を持たせるやう協力しておく必要があるやうにも考へられます、戰ひは正に決戰の眞最中である、銃後國民は最低生活に甘んじどんな難局に直面しても毅然明朗なる決戰生活により戰ひに勝ち拔かねばなりません【力總聯盟戰時生活課長梶山時郎氏】

花

庭に花を植ゑる家庭は、今春から全部蔬菜を植ゑるやうにとなれてゐる、食糧增産の立場から花などは問題でない
しかし、庭に全然花がないのも淋しいといふ人は、ゑんどうか、いんげん豆を植ゑた方がよろしい、豆類には美しい花をつけるものが多く、充分觀賞價値がある、實はそのまゝ食糧になるし、植ゑ方も至つて簡單であるからこんなに三拍子そろつて都合よく出來た植物も少いと思ふ

乾燥あをさ
調理法

あをさは色と風味がよいので從來のお魚の盛り合せや、上等な椀だねにも用ひられましたが、現在ではそれができませんので、こんな調理法をして召し上つては如何かと存じます
1、酢の物　一度熱湯を通してもどし適當の大きさに切り、酢、砂糖、味噌、又は醬油の三杯酢にて戴きます、ミカンの皮を細くきざんで入れますと又一層風味がよいものです
2、大根、牛蒡、蓮根、人參、ホーレン草等有り合せの野菜と

日本丈夫君の冒險
正本 作

11　愉快ツノ時、沖ニ小サナ黑點ガ現ハレルト、見ル見ル中ニ大空ニ擴ガツテ來タ。ソシテ瀬ノヤウナ雨ガ降ツテ來タ。スコールハ一時間バカリ降リ續ケ

椰子 (196)
海野十三 作　村上松次郎 畫
生理波 (三)

な生理波を受信するのだ。だから自盛機をずんずん廻して行くと、實に面白い現象が見られる。すなはち、自盛機の或るところの範圍においては、受信機たる原住民は、突然流暢な英語でぺらぺら喋り出す『イギリス人は、罵聲を排してアメリカ聯合國家より放れて昔の如く獨立すべきである。然らざれば……』などと喋り出すのだ。これは原住民の頭腦の波長が、たまたまかびたイギリス志士の頭腦に同調したのである。
それからまた自盛機を靜かに廻して行くと、その原住民はまた突然異樣な表情をして、ハバネラの一節をいい聲で歌ひだす。これはどうしたのかといふと、そのときの可憐なる彼の頭腦の波長は、南欧の歌姫リル・カリビアの頭腦に同調したのである。
生理的電波の發見と、その作用が明かにされるに及んで、いろいろと驚くべき應用が相次いで行はれた。
しかもこの成功は、アメ聯においてのみ收められたので、アメリカ以外のいづれの國も、この生理波について殆ど知るところがなかつた。
近來各國は、その國における科學技術の研究を、國家の最高機密の一つとして、他へ漏洩することを極度に警戒し、萬一それを漏洩した者には、その研究の當事者たる貴重な科學技術者であつても、容赦なく極刑を以て臨んでゐる。アメ聯のこの生理波の研究が永らく秘密の扉のうちに保たれてゐたことは、この一事を以てしても判るであらう。
アメ聯は生理波を驅使することについて、もはや相當の自信を持つてゐた。
原住民たちを集めて、その中から、最も單調で純粹な性質の者を擇び出した。
それはもちろん生理電氣裝置をもつて試驗をしたのであつた。實に風な事柄で、これを說明すると、催眠術に掛りやすい體質の者を選んだのだともいへる。
さういふ原住民は他から暗示を與へると、その頭腦を思ひのまゝに驅使することが出來た。從つて、アメ聯では、この暗示を與へるため、いやもつと適切な言葉でいふと、原住民の頭腦を制御するために、複雜にして微妙なる生理波制御器を用ゐ、原住民の頭腦の中で共振波長を相當の廣い範圍に亙つて自由に變へることに成功したのであつた。
つまり、原住民の頭腦は、ラジオの受信機における同調回路と殆んど同じものになつてしまつたことになる。
かくなれば、自盛機さへ動かせばよろしいのであつて、それに應じて、原住民の頭腦は、いろいろ

こんな風に、多數の原住民が、アメ聯の理學者の手によつて、頭腦の制御を行はれ、アメ聯の求める者の生理波の受信に脂汗を流し續けたのであるが、その求むる者とは、もちろんわがタラセア航空隊の自盛所長以下の幹部科學技術者たちのことであつた。
長期に亙り、多數の原住民を强度の神經衰弱又は癈人とせしめつつ、この執拗な研究は續けられた。そして遂に求める自盛所長以下の頭腦の働きを、原住民の頭腦を通して聽取することに成功するに至つたのである。その頃、わが航空所内に於ける記錄を見ると『ミドリ腦膜によるらしき奇病が發生、日一日と蔓延、悪疫消毒を强化せるも更に效なし』と記されてゐる。

當籤番號(其の七)　貯蓄債券・報國債券

3月抽籤　貯蓄債券　報國債券　當籤番號
支拂期日 4月1日
支拂場所 日本勸業銀行本支店、出張所、代理店及郵便局
(當籤番號檢索は省略)
昭和19年3月　大藏省・日本勸業銀行

[illegible]